茅広江の郷だより

令和3年2月発行 No.20
発行責任者　髙橋　敏信

茅広江の郷だより発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平素は、茅広江まちづくり協議会活動に対し、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

大寒が過ぎた今年一月二一日、丹生太子へのウォーキング（丹生初大師参拝）を開催しましたところ、天候に恵まれ多くの方々に参加いただき、往復八キロの距離を元気よく楽しく歩いていただきました。大変お疲れ様でした。

ウォーキング参加者

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本協議会の主な行事「市民体育祭」「ふれあいまつり」「マラソン&ウォーキング大会」の三大行事が中止となってしまいました。

年明けからコロナ感染者が急激に拡大、一一都府県に緊急事態宣言が発令され、この二月は感染者数は減少傾向にあるようですが、まだまだ油断はできません。引き続き、手洗い、うがい、マスク、三密の徹底をし、感染防止を行って下さい。

本協議会では、「茅広江地区防災計画」を策定しました。

近年、全国で台風等による風水害、予知が困難な地震をはじめ、災害が頻発しています。災害から大切な家族と地域を守り、「災害時の人的被害ゼロ」を目指します。

令和三年度より、住民協議会に「自治会部会」「公民館部会」が設置され、新たな住民自治会組織がスタートします。

また、新しく計画中の老人世帯の「助け合える組織」も活動の予定です。

茅広江地区は自然があふれている地域、このような自然を生かし、老若男女がふれあい支え合いながら、子どもたちを育て健康で安心して暮らしていけるまちづくりに取り組みます。

今後とも、より一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年二月吉日

茅広江まちづくり協議会
会長　髙　橋　敏　信

◇ 健康福祉部会

今年度は、新型コロナウイルス感染問題があり、まだまだ感染拡大が続いております。計画しました行事は、感染防止の関係から中止とさせていただきました。なかでも、たくさんの人々が集まる「地区市民体育祭」や「ふれあいマラソン&ウォーキング大会」は地域の皆様には楽しみにしていただいていたことと思いますが、コロナウイルス感染防止の観点から、「密閉、密集、密接を避ける」ということから今年度は中止とさせていただきました。

そういった状況の中で実施できました行事を紹介させていただきます。

☆ 食事サービス

五月三〇日、一一月七日、今年の二月六日には、八〇歳以上の高齢者の方々（八〇人ほど）にお寿司やおまんじゅうをお届けしました。本来なら手作りのお寿司をお届けする予定でしたが、このような時期に手づくりはどうかとの意見もあり、業者のお寿司にしました。新型コロナウイルスの心配のある中、楽しみに待っていただき、お元気な姿を目にすると私たちもうれしくなりました。いつまでもお元気で過ごしていただきたいと思います。

また、九月二〇日には、敬老者の方に紅白まんじゅうをお届けしました。

☆ グラウンドゴルフ大会

六月二七日、南小学校グラウンドにて行いました。子どもたちを含め三七人ほどの参加者があり

グラウンドゴルフ大会

特集

茅広江の野に咲く花など（薬草）

No.12
2021.2

◎イタドリ　タデ科の多年生植物。 花期は夏～秋、日当たり良い山野や道端などで群生、細かい白花を咲かせる。春先の若芽は食用になる。 根は緩下薬としてまたコンジュウコン（便秘）等に用いられる。

◎オオイヌノフグリ　オオバコ科の野草。日の当たる道端や土手に自生する。早春に多数の花が咲き、朝開いて午後に散る。アジアが原産地。解毒、食欲増進、血液浄化などに用いられる。

◎カラスノエンドウ　マメ科の越年草。花期は３～６月でエンドウに似た小型の紅紫色の花を付ける。日当たり良好な原野や路傍、土手などに自生する。乾燥させたものを胃のもたれなどに煎じて用いられる。

◎ハコベ　ナデシコ科の越年草または多年草。道端、畑などに自生。春に小さく白い５弁化を開く。ビタミンB、Cなどに富む。春の七草の一つ。昔から食用、薬用植物として知られている。歯槽膿漏、虫歯予防。

◎ネムノキ　マメ科の落葉高木。川沿いに多く、夜に葉を閉じるため、眠ったように見えるのでこの名がある。夏に淡紅色の花が咲く。庭園、街路樹に利用。樹皮にタンニンが有、利尿、強壮、鎮痛効果がある。

◎ジネンジョ　ヤマノイモ科、多年生で雌雄異株のつる植物。日当り良い山野に自生。茎は淡緑色で他物に絡みつく。花期は夏、秋にムカゴができる。食用、薬用、漢方薬に使われる。

◎ナズナ
アブラナ科の越年草。荒れ地や道端に自生する越年草。早春に白い小花が咲き、果実は平らな三角形。春の七草の一つ。全草、利尿、解熱。また止血に用いられる。

◎ハナイカダ　モチノキ科の落葉低木。湿気の多い日陰で自生。葉の主脈に花柄がついており、花がいかだに乗っているような形からこの名がある。葉と果実を下痢止め、根を咳止めなどに用いられる。

◎ヤツデ　ウコギ科の日本特産の植物。花は秋咲き、日陰でもよく生育する常緑低木。品種も多く庭木としても植えられる。民間では、乾燥した葉を風呂に入れてリュウマチに、煎じて風邪などに用いられる。

◎リンドウ　リンドウ科多年生植物。花は９～11月に紫や青色の花が咲く。花は日光を受けると開き、夜は閉じる。雨や曇りの日は閉じたまま。食欲不振、消化不良、生薬のリュウタンの原料。

◎ヨメナ　キク科の多年草。秋に薄紫か白い菊の花をつける。山野の湿地に多く自生する。春の若菜は美味で、茹でて和え物などに。民間では地下茎を煎じて解熱・利尿などに利用する。

◎ヤブコウジ　サクラソウ科で常緑小低木。花期は７～８月、白または帯紅色の花が咲く。葉は輪生。根は横に這う。根をシキンギュウ「紫金牛」といって解毒、利尿などに用いられる。

ました。グラウンド状態も良く、晴天の中で楽しく行うことができました。

また、一〇月二四日、今年一月三〇日にも大会を行い、コロナ禍ではありますが感染予防を行いながら、ゲームを楽しみました。

☆ 丹生大師へ

今年一月二一日丹生大師へのウォーキングを行いました。一五人の参加がありました。晴天の中、丹生大師までの約八キロのウォーキングを楽しみました。広場でお弁当を食べながら久しぶりの遠足気分でした。参加していただきました皆さんお疲れさまでした。

☆ 花の慰問活動

六月一三日、一二月二日には六五歳以上の一人暮らしや寝たきりの方々に花の寄せ植えをお届けする慰問活動を行いました。外出する機会の少ない中、気持ちも和んでいただけたのではないかと思います。

花の植え付け

☆ 在宅介護者の集い

今年度は、在宅介護をしてみえる方々に少しでも介護の疲れをいやしていただけたらとお菓子を配らせていただきました。

花の慰問活動

◇ 環境・安全防災部会

今年度は新型コロナウイルス感染防止のためいろいろな活動が中止となりました。

安全防災関係の活動として毎年実施している、消防ポンプによる放水訓練も中止。また、一二月の清掃奉仕活動の日の、毎年恒例の炊き出し訓練についても中止となりました。

環境関係の活動としては、今年度も、ホタルの調査、ササユリの保護活動、花いっぱい運動などを計画しました。

ササユリとホタルの調査は五月三一日(日)に部会のメンバーが集まって、調査方法を協議しました。コロナ対策として、今年度は三地区のそれぞれで、独自に調査を行い、ササユリの結果は、夏のたよりで簡単に報告をさせていただきました。ササユリの花はよく見ると、形や色に変異があり、面白いものです。花弁が幅広くて豪華なものや、花弁が細身のすっきりしたタイプ、花の色も白っぽいものから、濃いピンクのものまで多様です。採取せずに、その場で鑑賞しましょう。保護のために、どうかご協力をよろしくお願いします。

ササユリの果実（広瀬町）

ササユリの花

ホタルの調査では、ゲンジボタルだけでなく、ヘイケボタルも生息していることがわかってきました。ゲンジボタルは大きいのに対し、ヘイケボタルはかなり小さいです。また、胸部の模様はゲンジは黒い十字になっていますが、ヘイケは黒く太い筋になっています。

ゲンジボタル

ヘイケボタル

ゲンジボタルは主に巻貝のカワニナを餌にしていますので、カワニナを増やすことが、ゲンジボタルの保護につながります。

田の水路のカワニナ

八月九日(日)教育文化部会と合同で、川遊び体験での生き物調査を計画していましたが、これも中止となりました。

櫛田川と六呂木川の水質調査の実施について、昨年度の冬の調査結果に対し、今年度夏の調査結果は、大腸菌等が多く検出されました。

六呂木川

櫛田川

花いっぱい運動

秋にかけて咲くニチニチソウを七月一九日にプランターに植え付けました。また冬から春にかけて咲くパンジーは一二月一三日に植え付けました。

今年度は、茅広江自治連合会とまちづくり協議会が協力して茅広江地区防災計画の策定を行ってきました。環境・安全防災部会も部会長・副部会長・書記の三名が出席し、協議に加わりました。今後、防災計画が決定(承認)されましたら、この計画に基づき、環境・安全防災部会としての活動計画を検討し、「災害時の人的被害ゼロ」を目指す取り組みを実施していく必要があります。

花いっぱい運動

◇ 地域振興部会

☆ サツマイモの栽培と収穫（六月～一一月）

栽培場所選定は、獣害問題や、保育園児の移動距離で重要となります。今回借用の畑は、昨年に続き二回目となりました。数回、猿が近くに来ていると話を聞き心配しましたが、無事収穫出来ました。畑の所有者の方には、トラクターによる耕耘等大変お世話になりました。

一一月四日には、保育園児がサツマイモ堀を体験しました。畑が、保育園から近いため、数十名の園児たちが行列を作り、ワイワイとにぎやかに、保育士さんと畑まで歩いて来てくれました。プラスチックの小さなスコップで夢中に掘っていました。サツマイモの皮がむけるほど一個に集中して掘っている園児や、手際よく沢山掘る園児など様々でした。

サツマイモ掘り

今回は畝を昨年より高くして掘りやすくなったと思いましたが、プラスチックの小さなスコップでは限界があり、大人がスコップで援助を行う必要がありました。帰りには、保育士さんが運搬車へサツマイモを入れるよう言っていましたが、自分で持っていくと、両手にビニール袋を持ち歩き出す園児等、様々でした。両手に持っていた園児も、数十メートル歩くと、頑張っていたものの、重さに耐えきれず運搬車に預けていました。

保育園児のみなさん

又、一一月一四日に地域振興部会員・本部役員でサツマイモの収穫を行いました。「ふれあい祭り」で焼きイモを販売させて頂く予定でしたが、新型コロナ感染の影響で祭りが中止となってしまいました。収穫したサツマイモは、各地区の部会員の皆さんに持ち帰って、配っていただきました。

☆ 一一月、今年度の「ふれあい祭り」にについて

当初、秋にはコロナ感染もおさまるだろうと開催を考えていましたが、状況が悪化、部会での検討の結果、安全を優先し、開催を中止とさせて頂きました。趣味サークルや地域の方々の作品の展示、農産物の品評会など発表の機会が得られなかったことをお詫びいたします。

◇ 教育文化部会

☆ 川遊び・生き物調査

二年連続で川の増水のため実施出来なかった事業ですが、今年は、梅雨時期を外し計画しました。しかし、新たにコロナという難題につかりました。この事業は環境安全防災部会との連携事業のため合同部会を持ち、コロナ対策を柱に実施するか検討を行いました。この時期、学校現場では野外活動は中止しているという状況であり、本年度は中止することになりました。

☆ 夏休み子ども料理教室

教育文化部会では人数や対象年齢を制限して実施する方向で考えていましたが、料理や飲食等による感染防止、密にならないように子どもたちに指導する難しさもあり、中止となりました。

☆ 社会見学

例年六月に実施されていた社会見学ですが、コロナの状況改善を考え、実施の可能性のある九月に延期しました。しかし、コロナの状況は一向に好転せず、学校の修学旅行では、県外から県内に変更して実施されている現状から、見学先を県内にすることも考え、部会を開き検討しましたが、もしもの事があってはという意見が大半を占め、本年度は中止するということとなりました。

☆ 相可高校料理教室

例年好評で多くの人が楽しみにしていた相可高校料理教室ですが、料理実習、飲食における感染防止、密接、密集等の対策に難しさがあり、相可高校と調整、中止することとしました。

☆ 教養講座

この一月、教養講座「絵手紙を書いてみよう」を行いました。募集人数を制限、密接、密集、換気等対応、講師は地域在住の中世古眺先生にお願いしました。下が作成した絵手紙です。

講座の状況

音楽鑑賞会、映画鑑賞会、園児との交流は、コロナの関係で今年は実施を、見送ることとなりました。

作成した「絵手紙」

今年の二月、松阪市公民館まつり（作品展）が開催されました。趣味講座からの作品、今回作成した絵手紙を出品させていただきました。ありがとうございました。